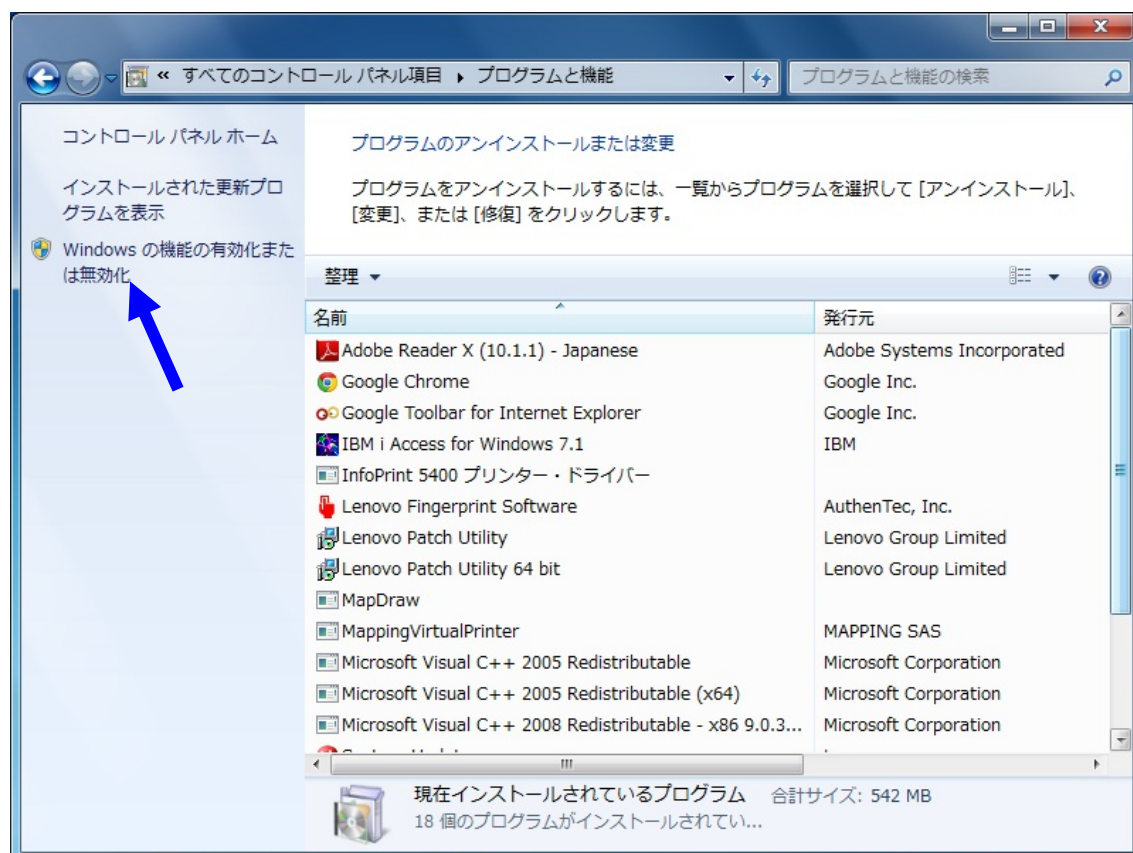


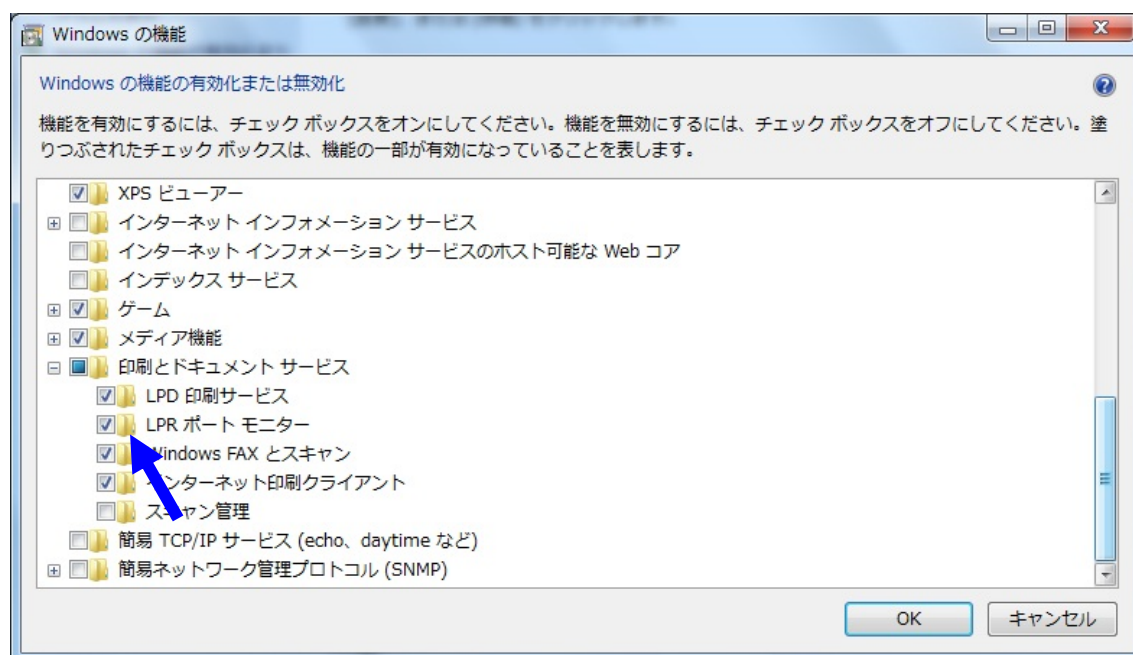
Windows7において標準 TCP/IP ポートから LPR ポートに変更するための手順

リコープロダクションプリントソリューションズ・ジャパン株式会社

1. 管理者権限を持つユーザーかアドミニストレーターで Windows7 にログインし、「スタート」→「コントロール・パネル」→「プログラムと機能」を選択して、下記の画面を開きます。

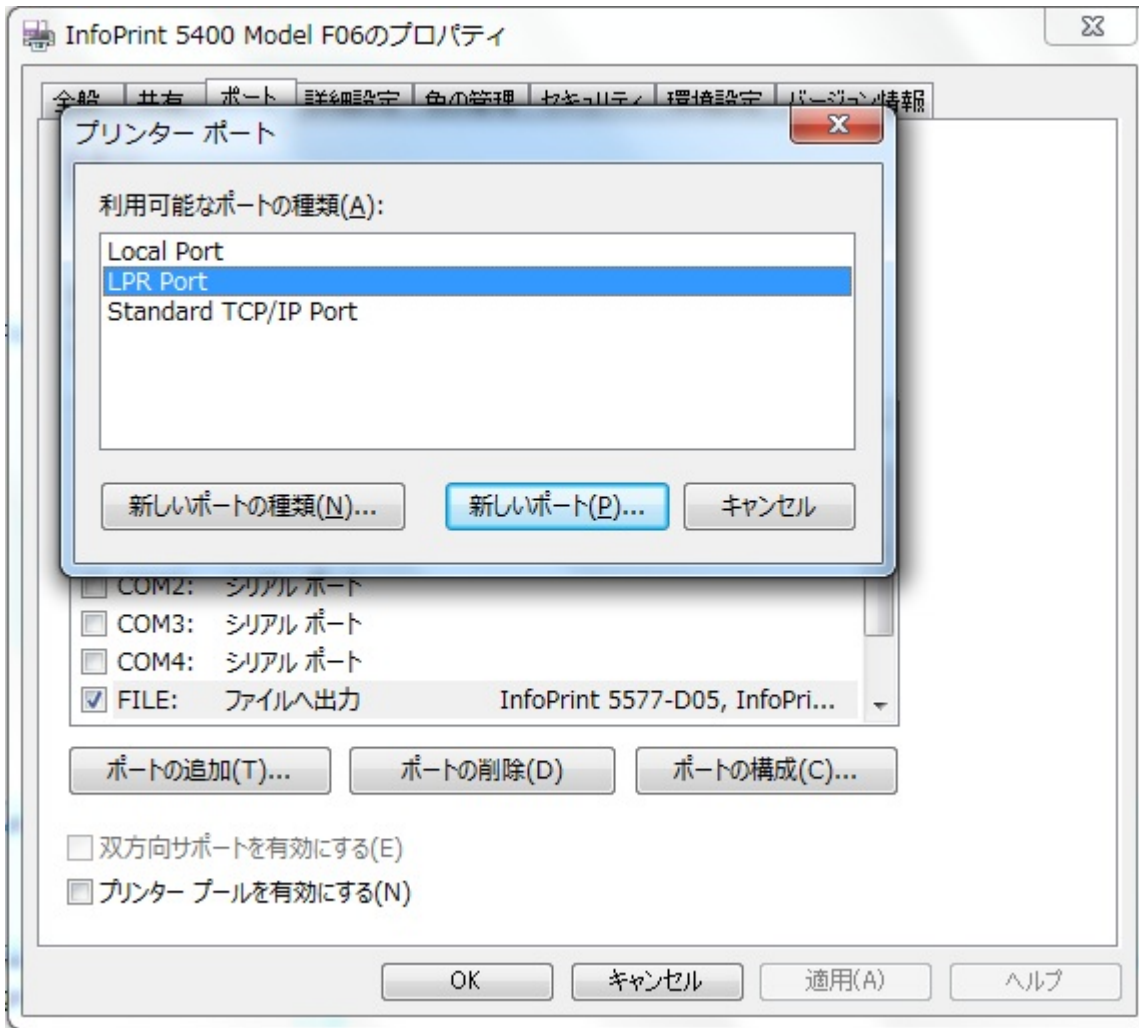


2. 「Windows の機能の有効化または無効化」をクリックすると下記の画面が表示されます。

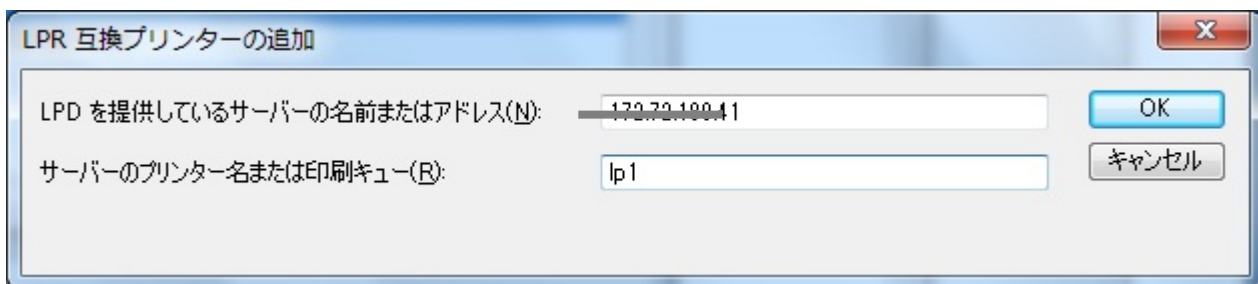


3. 「印刷とドキュメントサービス」の中の「LPR ポート」と「LPD 印刷サービス」にチェックを入れて「OK」ボタンを押します。

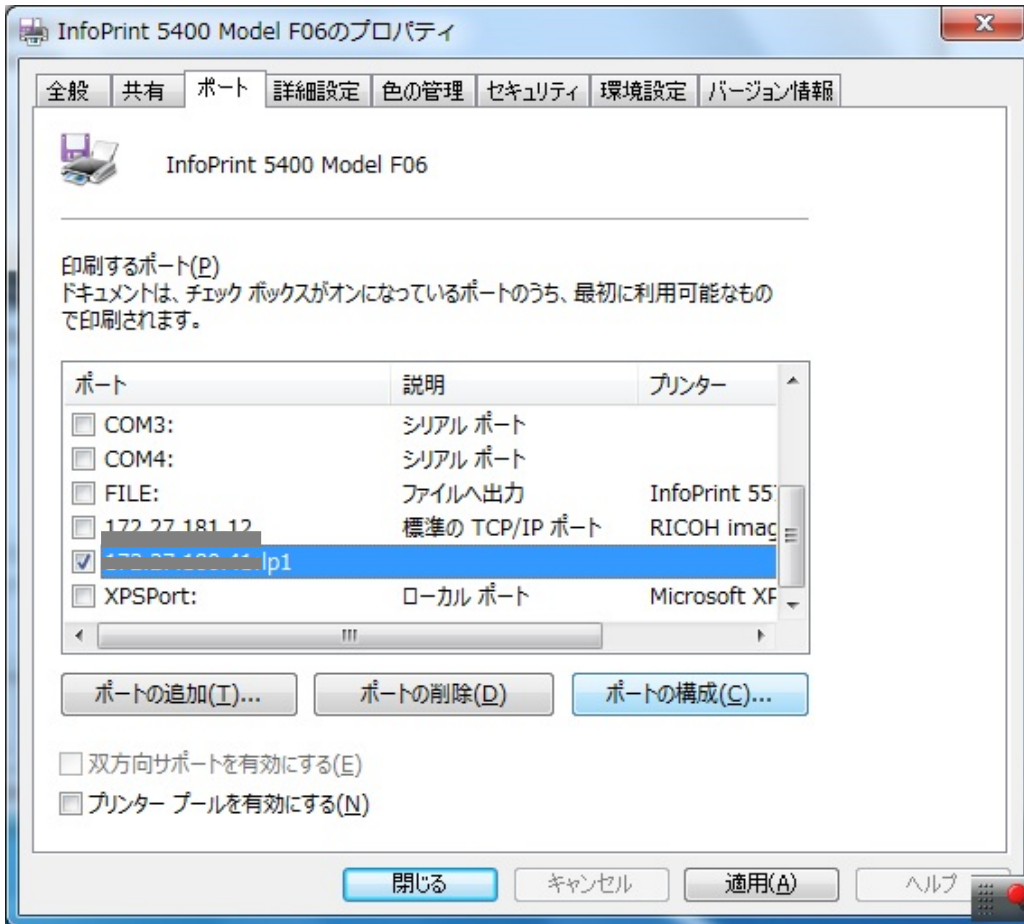
4. LPR ポートに変更するプリンターの「プリンターのプロパティ」を開き、「ポート」タブ→「ポートの追加」を選択すると、下記画面のように「利用可能なポートの種類」に「LPR Port」が追加されています。



5. 「新しいポート」ボタンを押して表示される「LPR 互換プリンターの追加」画面において、プリンターの IP アドレスとキュー名を記入します。キュー名はプリンターの内蔵 LAN カードによって決まります。5400 シリーズと 5577 シリーズの場合は、lp1（半角小文字）、5400 エミュレーターII の場合は pr1（5577 モード）です。

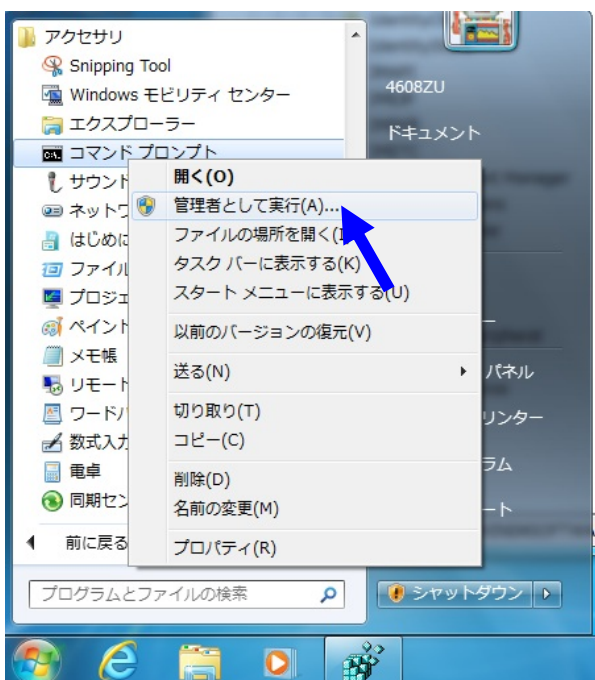


6. 「OK」ボタンを押して、次の画面が表示されたら「適用」→「OK」とボタンを押してポートの変更を行いません。以上の操作でポートの変更は完了です。

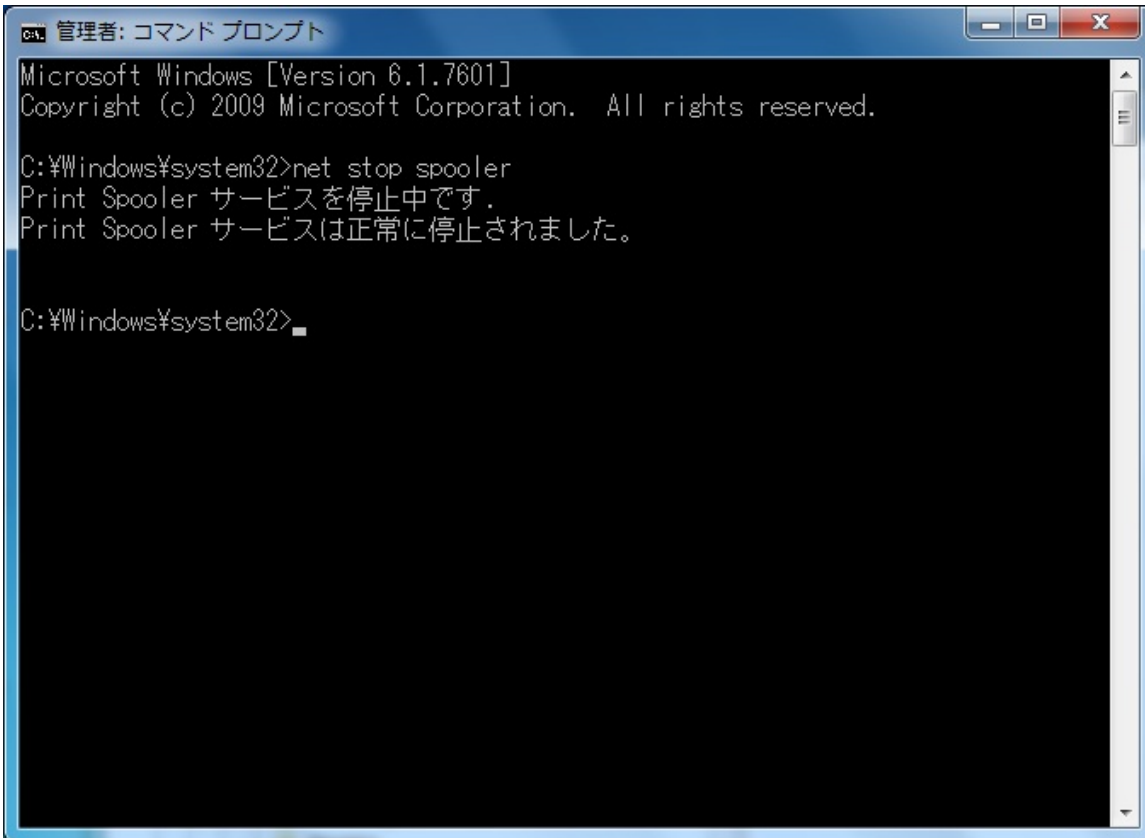


※LPR ポートの場合、タイムアウト値のデフォルトは「300 秒（5 分）」となっていますので、そのままでも繰り返し印刷の発生は回避できると思われます。しかし、お客様のネットワーク環境や、印刷データのサイズによって 300 秒よりも更に大きな値に変更する必要が出てきた場合には、レジストリーを編集して LPR ポートのタイムアウト値を変更します。その場合には、次の「7」以降にお進みください。ただし、レジストリーの編集は Windows への大きな影響を与えることになる可能性がありますので、十分慎重に行なってください。

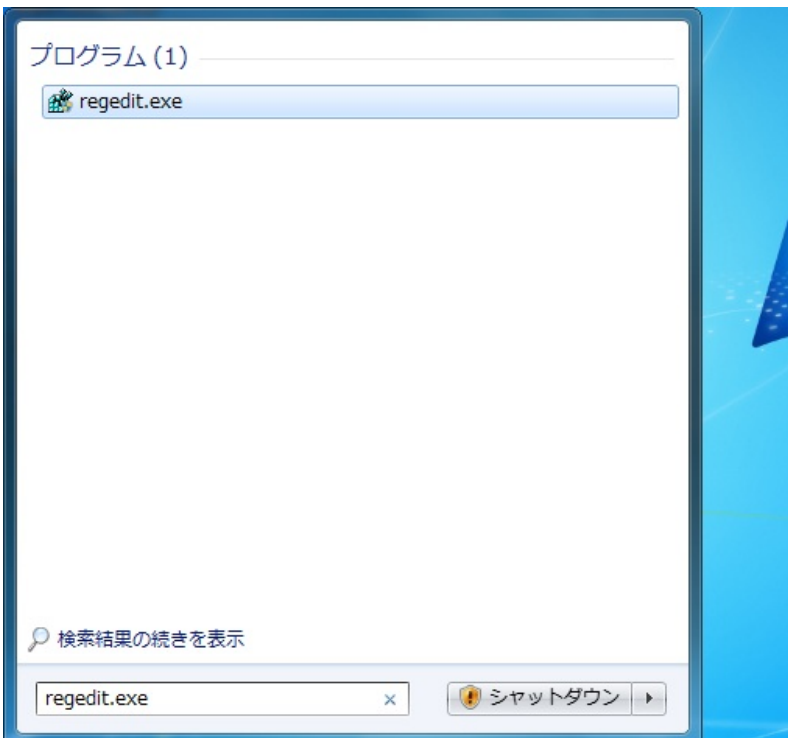
7. 「アクセサリ」の中から「コマンド プロンプト」を選択し、右クリックして「管理者として実行」します。



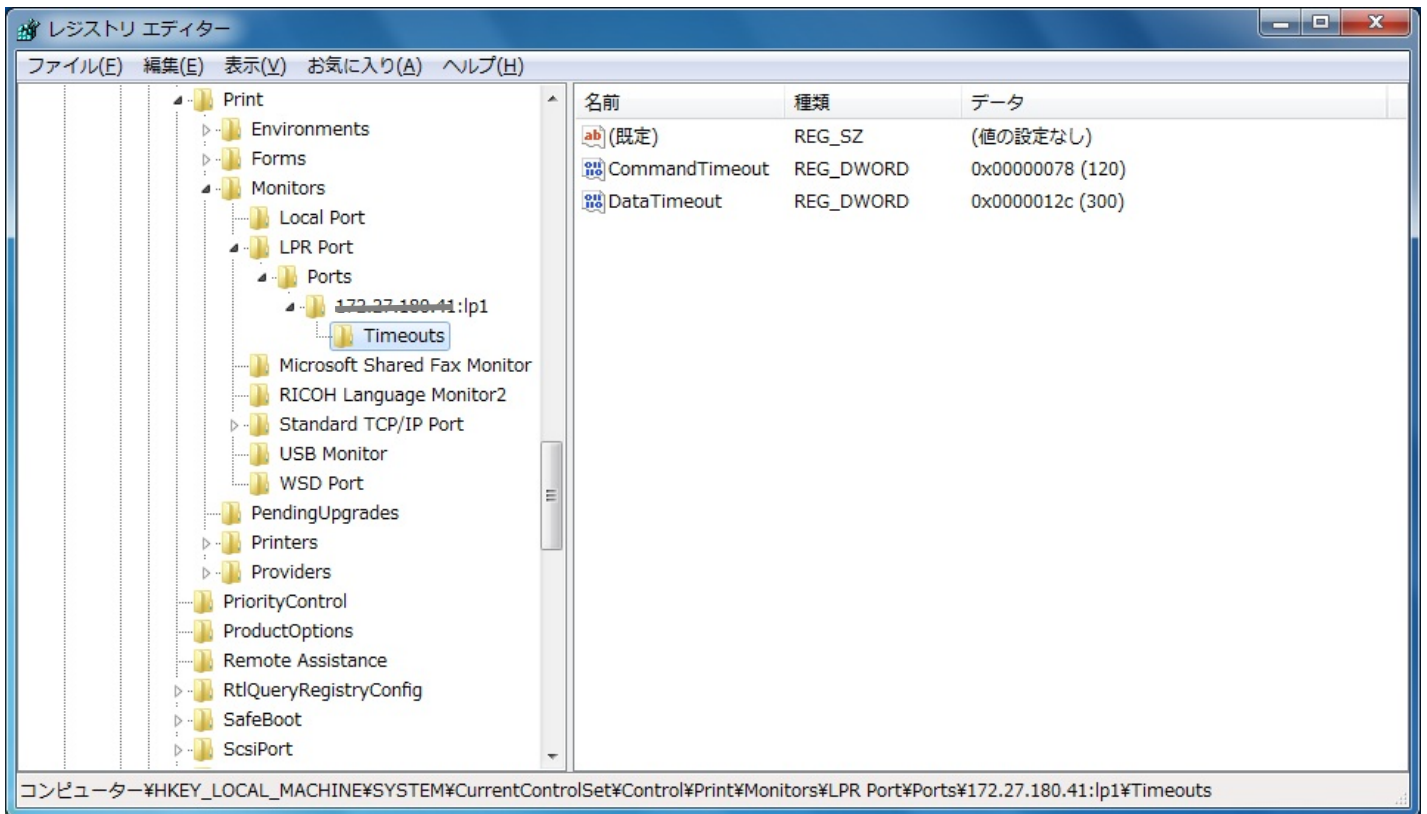
8. 下記画面のように「net stop spooler」と入力して「Print Spooler サービス」を停止させます。



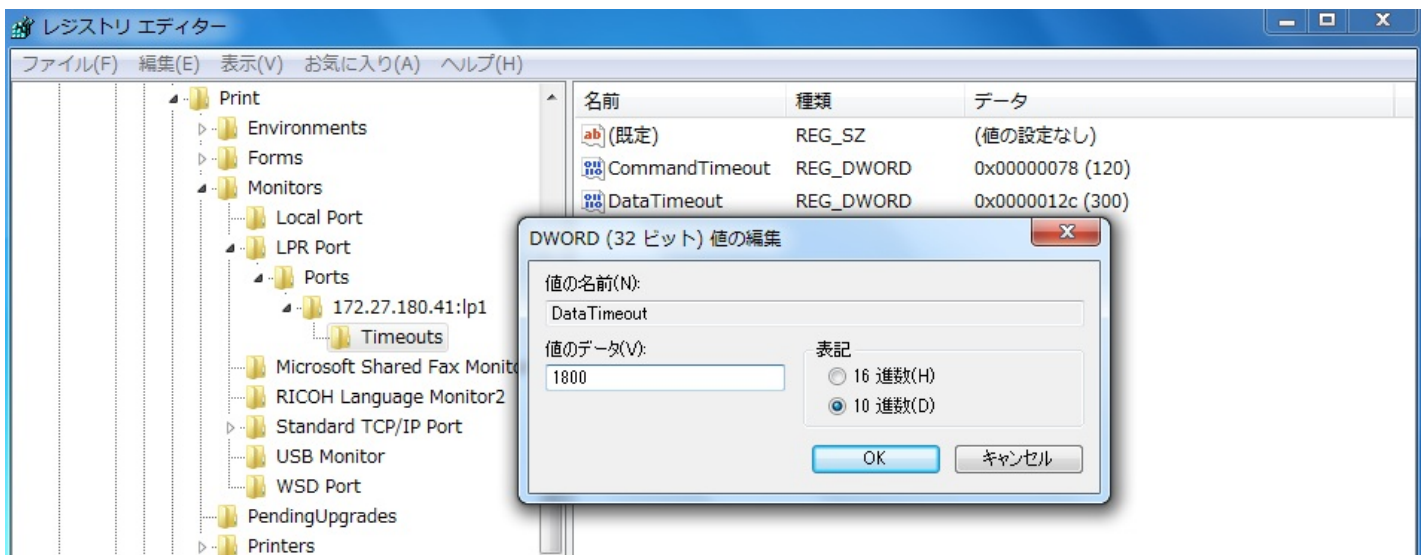
9. 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」欄に「regedit」と入力して実行します。



10. 下記画面のようなレジストリ エディターが起動したら、
「¥¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥System¥CurrentControlSet¥Control¥Print¥Monitors¥LPRPort¥Ports」の下にできた LPR ポートの下の「Timeouts」をクリックします。

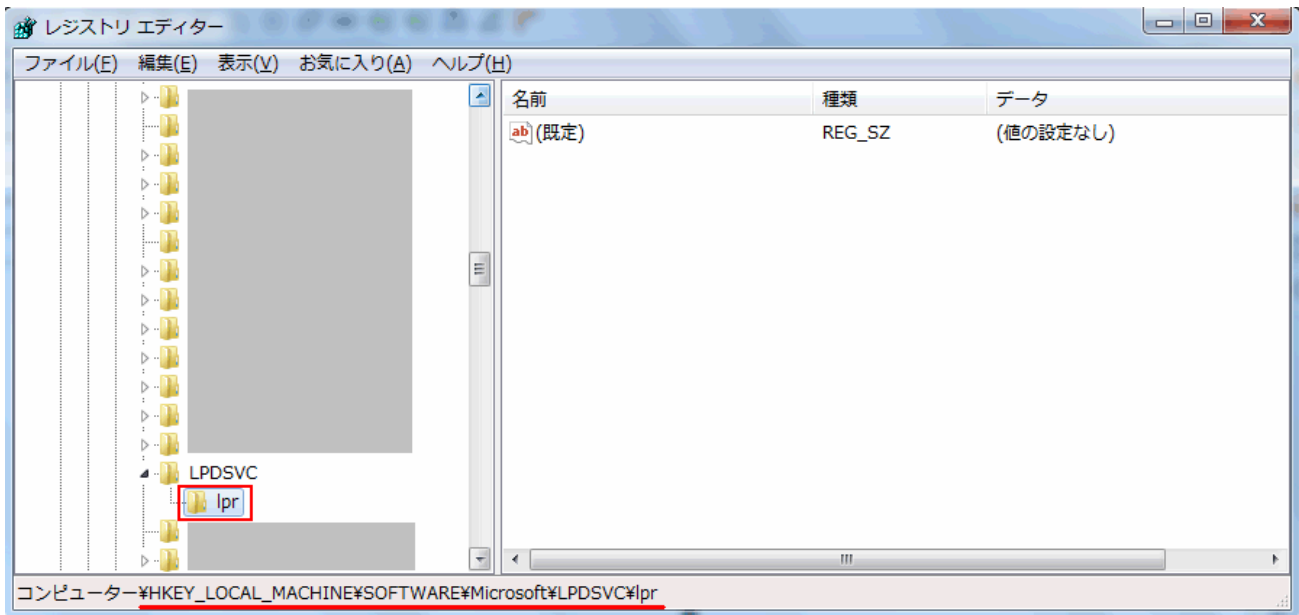


11. DataTimeout の「データ」が(300)となっているのは、300 秒という意味です。DataTimeout をダブルクリックして表示される下記の「編集」画面において、「表記」の「10 進数」をチェックします。そして「値のデータ」欄に設定したいタイムアウト値を「秒単位」で記入して「OK」ます。(下記画面は 30 分に変更した例です。) なお、値を大きくすることが悪影響を与えることはありません。以上でタイムアウト値の設定は終了です。

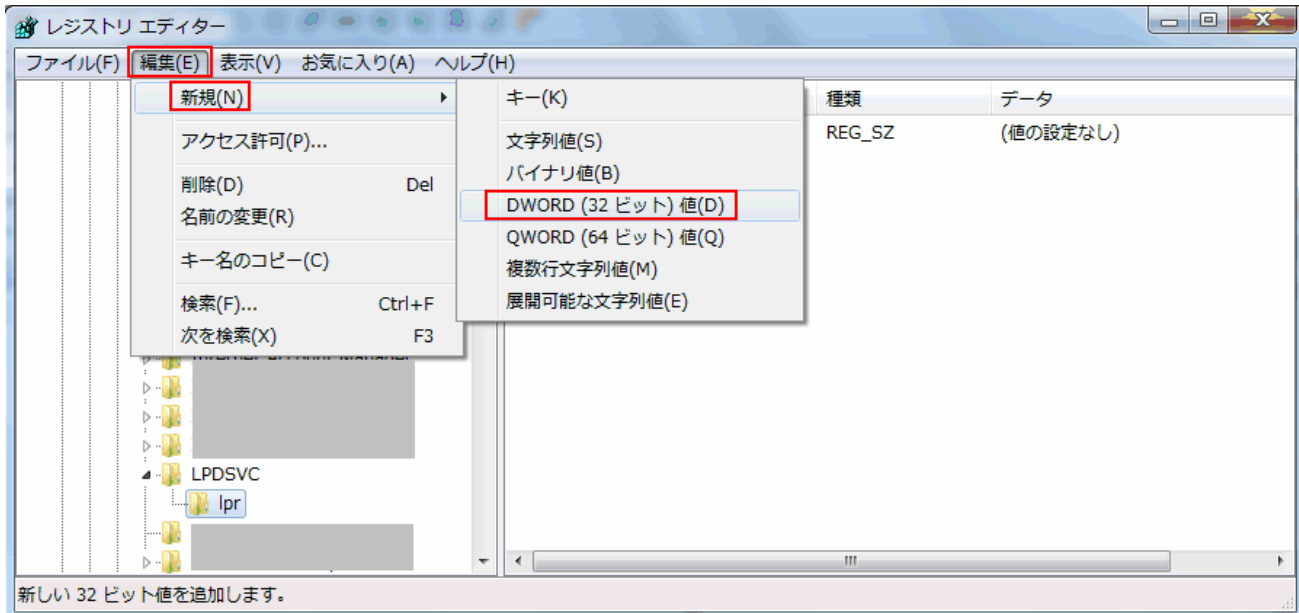


※LPR ポートの場合、11 個を越える印刷ジョブ(12 個目のジョブ)の印刷開始が遅れるという現象が発生する場合があります。これは、Windows7 において、デフォルトでは LPR で利用できるポート数に制限があるためです。この問題は、次の手順でレジストリーを編集して、ポート数の制限を無制限に設定することで回避できます。ただし、レジストリーの編集は Windows への大きな影響を与えることになる可能性がありますので、十分慎重に行ってください。

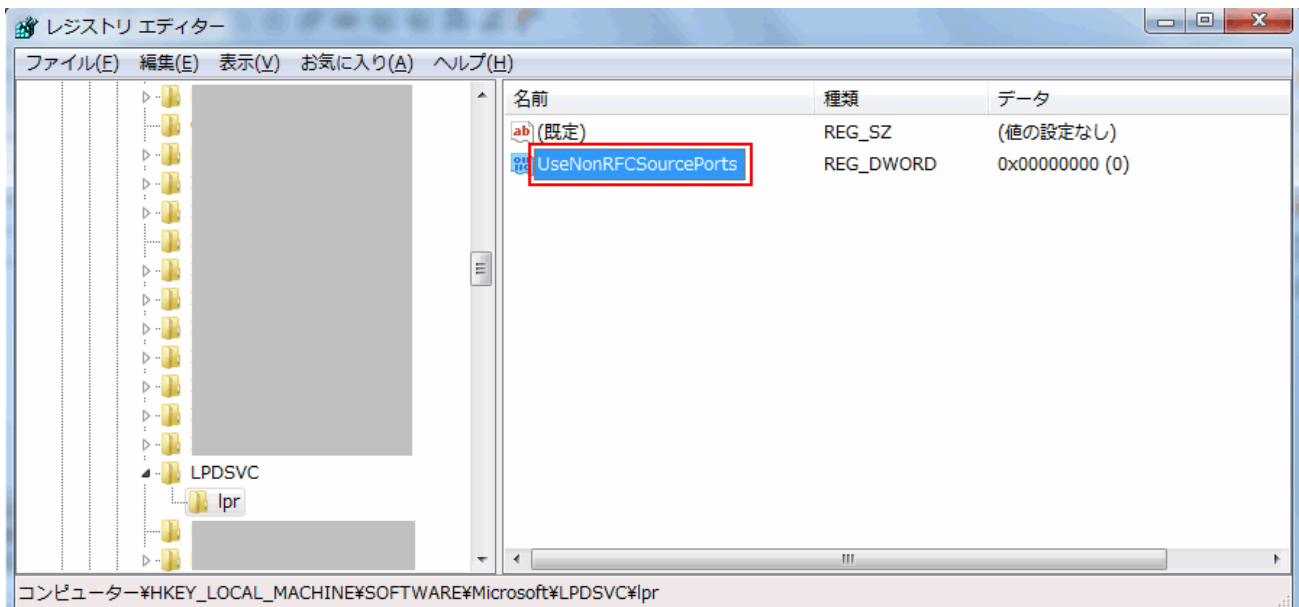
12. レジストリ エディターで「¥¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥LPDSVC¥lpr」を選択します。※画面下のパスの表示を確認してください。



13. 「lpr」キーを選択した状態で、メニューから[編集] → [新規] → [DWORD (32 ビット) 値] を選択します。



14. 値の名前を UseNonRFCSourcePorts と入力します。



15. UseNonRFCSourcePorts をダブルクリックして開きます。

「DWORD (32 ビット) 値の編集」が開きますので、以下の値を入力し、「OK」をクリックします。

値の名前 : (UseNonRFCSourcePorts が表示されています)

値のデータ : 1

表記 : 16 進数 (バイナリ)



値のデータは、デフォルトでは「0」になっていますが、ポート数の制限をなくするために「1」に設定します。

マイクロソフト社の情報では、ポート 721~731 (11 個のポート) を使用する場合は「0」、ポート 1024 以降の任意のポートを使用する場合は「1」を設定するとしています。

《参考》 LPR で利用できるポート数に制限は、Windows のレジストリを変更することにより修正可能であることについては、下記マイクロソフト社のホームページでご紹介されています。

[サポート技術情報 文書番号 : 179156 Windows NT 4.0 SP3 以降で更新された TCP/IP 印刷オプション](#)

16. レジストリ エディタを終了させて、手順「8」と同様の手順でコマンドプロンプトに「net start spooler」と入力します。「Print Spooler サービス」の開始が確認できたら終了です。

以上